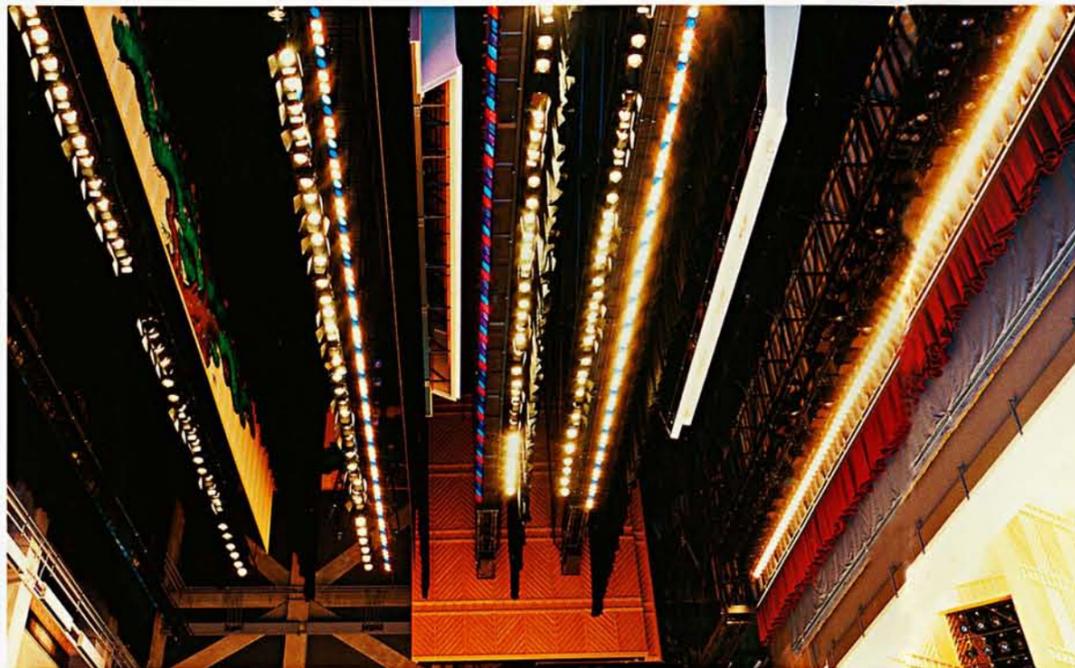


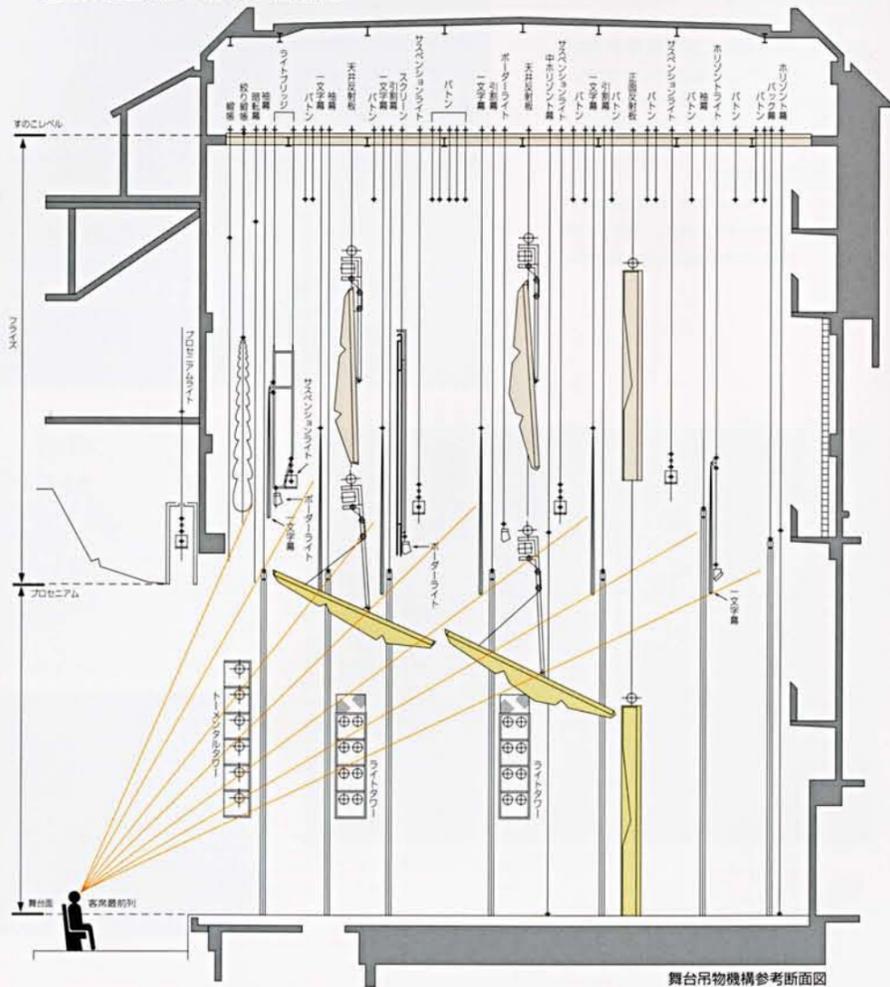
吊物機構

精緻な動作と確実な位置決めが、演出効果を高めます。

吊物機構は、大道具や照明器具、音響機器、スクリーン設備、舞台幕、音響反射板などの吊物を、観客席から見えない舞台上部空間（フライズ）に収納するための舞台機構です。いずれも必要に応じて自在に昇降させることができます。昇降の制御方式は、吊物の種類、建築の構造、積載荷重、使用頻度、昇降速度などの諸条件によって決められます。



■ふくやま芸術文化ホール／大ホール舞台上部

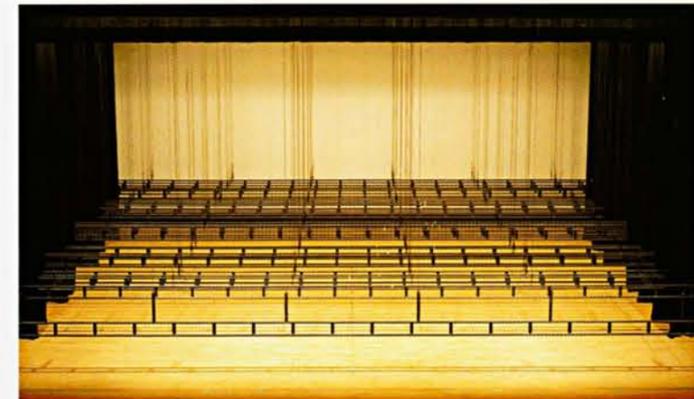


■舞台吊物機構参考断面図

美術用吊物機構

Flying Equipment for Scenery

美術用吊物機構は、主に道具類を昇降させるための装置です。舞台上に左右（上下）に渡す「美術用バトン」、道具を1点で吊る「点吊り装置」、などがあり、最近では、コンピュータによる制御が一般的になっています。



美術バトン

背景、書割り（風景や建物などを描き込んだもの）、道具幕、看板などを昇降させるためのバトンで、舞台の最前部から最後部までの間に、できるだけ数多く設置することが望まれます。

点吊り装置

基本的には、1台の昇降装置で吊物の1点を昇降させる装置です。複数の吊点を選び、同期運転をさせることによって、さまざまな形状の吊物を昇降させることができます。



簧の子（すのこ）

簧の子には吊物機構の駆動機、滑車などが設置されています。舞台床面からの高さは、基本的にはプロセニウム（舞台と客席を区分するステージ上の額縁）の高さの2.2倍以上が必要です。



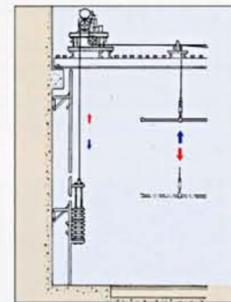
綱元（つなもと）

舞台袖の壁面に設置された吊物昇降用の「引き綱」や「カウンターウェイト」がまとめられた場所のことです。

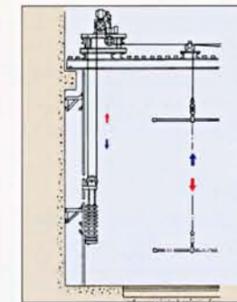
駆動方式

電動昇降式	カウンターウェイト式	1:1ローピング
	ドラム巻取式	2:1ローピング
手動昇降式	カウンターウェイト式	
	ウインチ巻取式	

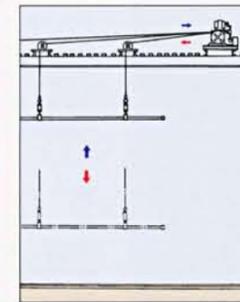
※カウンターウェイト吊物バトン等の荷重と重量バランスをとる線（おもり）のこと。



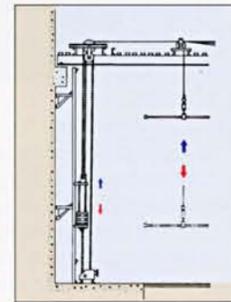
■電動カウンターウェイト式 1:1



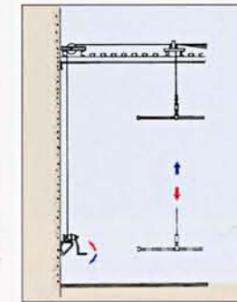
■電動カウンターウェイト式 2:1



■電動ドラム巻取式



■手動カウンターウェイト式



■手動ウインチ巻取式

照明用吊物機構 Flying Equipment for Lights

照明用吊物機構は、舞台照明器具を本番所定の位置に吊り上げるための装置で、器具の仕込みやメンテナンス時にも昇降させます。舞台上に左右(上下)に渡す「ボーダーライト、サスペンションライト、 Horizontライト」のほか、プロセニウムアーチの前に設ける「プロセニウムライト・客席ライト」、舞台の両袖に設ける「ライトタワー、トーマンタルタワー」、操作スペースを設けた「ライトブリッジ」などがあります。



■鳥取県立県民文化会館



サスペンションライト

舞台上部から照らすスポットライト、またはフラッドライトのことです。パトーンにフライダクト(コンセントのついた配線ダクト)を吊り下げています。奥行きに応じ複数のサスペンションライトが設置されます。

ボーダーライト

舞台上部から均等に照らす楯状の照明器具です。舞台の奥行きに応じて複数のボーダーライトが設置されます。



Horizontライト

舞台最後部の天空を表す壁または幕(Horizont)を照らす照明器具。照明によって青空、夕焼、夜空などの効果を創ります。



プロセニウムライト 客席ライト

舞台と客席を区分するプロセニウム・アーチの前、または客席上部に設けられた照明のこと。緞帳・舞台前部への投光や、TV撮影の際の光量を確保するために使用します。



ライトブリッジ

ボーダーライトやサスペンションライト等の照明器具を取り付けると同時に、その上で器具の操作や、演出上の雪や花びら、落ち葉などを散らす等の作業を行うことができる構造的吊物装置です。ギャラリ(舞台脇の上部壁面等に設けられた作業用のスペース)から乗降できるようになっています。



トーマンタルタワー

プロセニウムの上手・下手の側壁に設置されているスポットライトのこと。トーマンタルスポットともいいます。



ライトタワー

舞台の両袖から投光するための照明のこと。簀の子に設置した電動巻取式ユニットで昇降させ、使用しない場合は、フライズに格納することができます。

舞台幕機構 Stage Curtain Systems

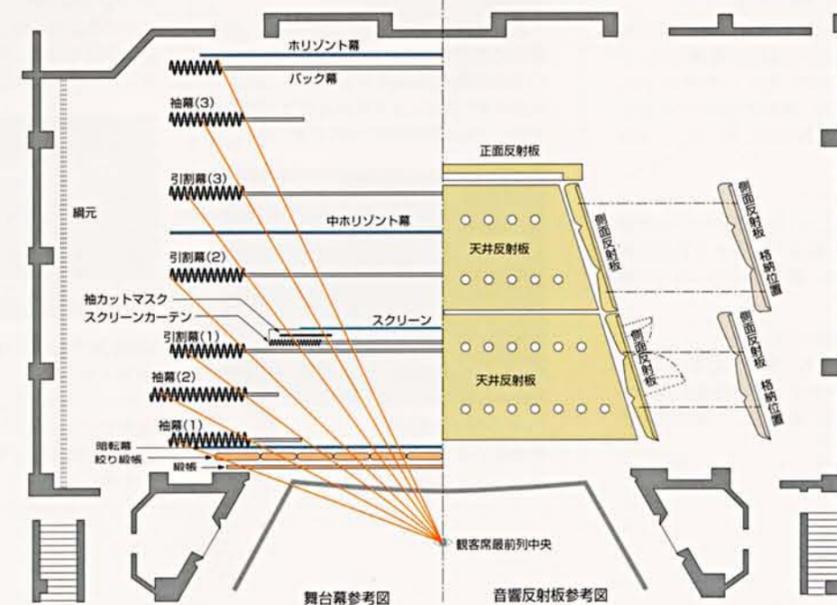
舞台幕機構は、舞台上で使用されるさまざまな用途の幕類を昇降・開閉させる吊物機構です。緞帳のほかに、舞台上には用途別に多様な幕類があり、また、それぞれの用途に適した昇降・開閉の方式があります。

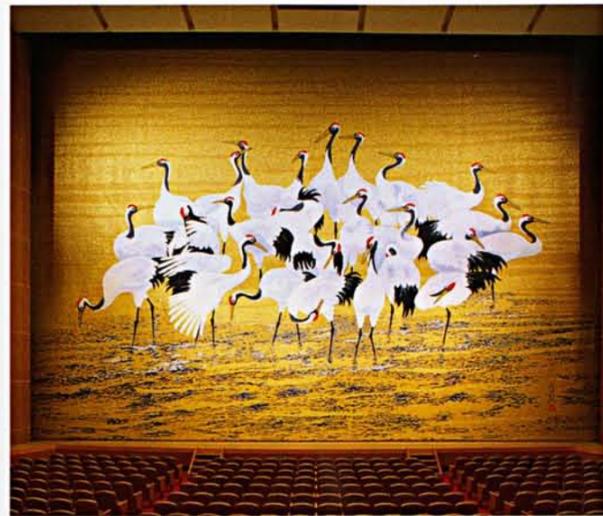


■根室市総合文化会館

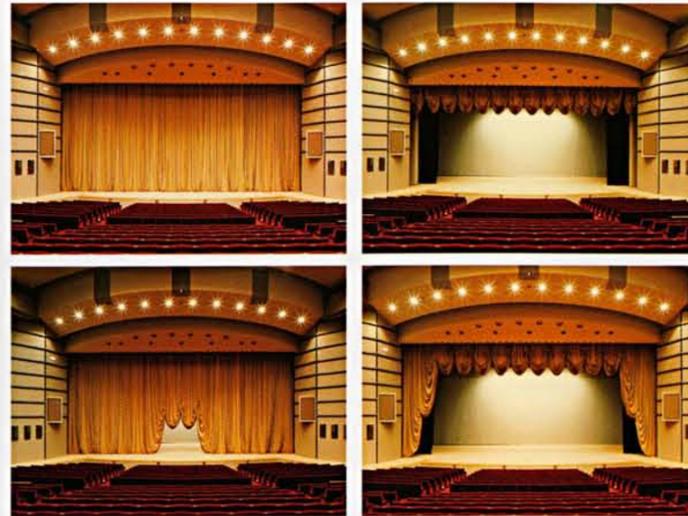


■松戸市文化会館

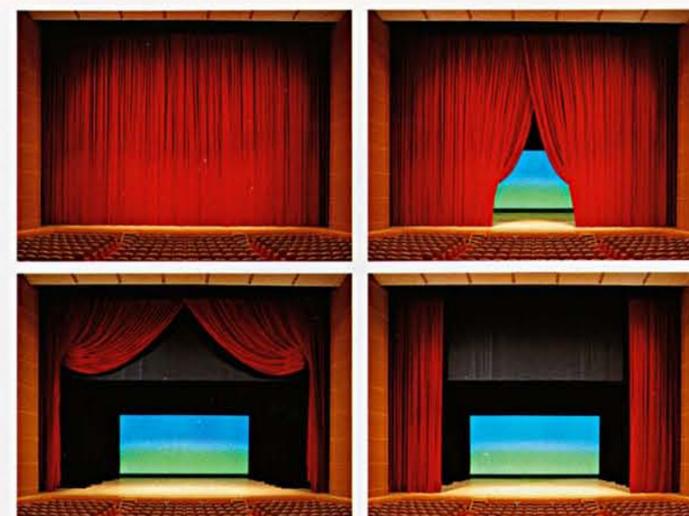




緞帳 (どんちょう)
舞台と観客席を仕切る飾り幕です。一般的には上下に開閉し、幕地は西陣織で仕立てます。



絞り緞帳 (しぼりどんちょう)
絞り上げ式の緞帳です。ボタン操作で複数の開閉パターンを設定することができます。幕地は柔らかい生地です。



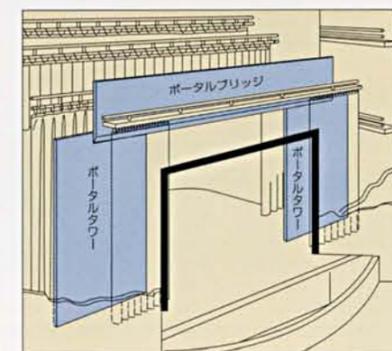
オペラカーテン
斜め絞り式の幕(緞帳)です。幕地は柔らかい生地です。



巻き上げ緞帳 (まきあげどんちょう)
ドラムパイプに巻き取る方式の緞帳です。

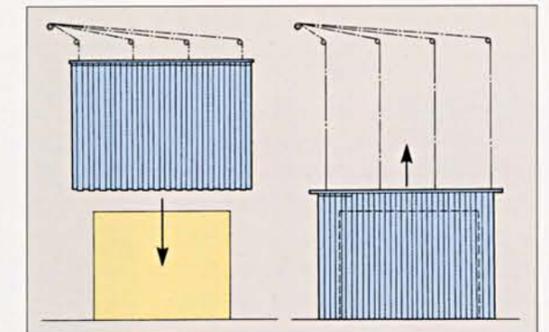


プロセニウム可変機構
プロセニウム自体が動作し、天地左右の寸法を調節して開口を変える機構です。

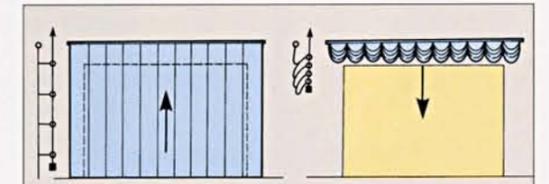


ポータル
天地寸法を調節する「ポータルブリッジ」と、左右寸法を調節する「ポータルタワー」の動作によって、上演作品に適した大きさの開口部を作る機構です。「インナープロセニウム・アーチ」とも呼ばれています。

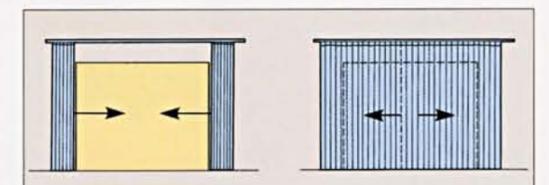
昇降・開閉の方式



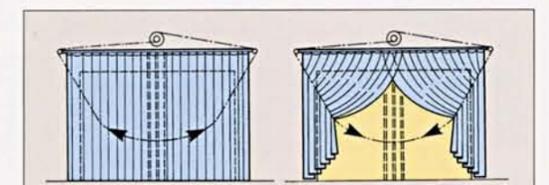
■昇降式
舞台幕を吊物として垂直方向にそのまま昇降させる方式です。<緞帳・暗転幕・大黒幕など>



■絞り上げ式
舞台幕を絞り上げて開閉させる方式です。絞り上げ方によって開閉パターンにバリエーションをつけることができます。<絞り緞帳・残響可変幕など>



■引割式
舞台中央から左右に開閉する方式です。昇降式を併用することも可能です。<引割幕・バック幕・スクリーンカーテン・など>



■斜め絞り式
引割式の一つで、斜め左右上方に絞り上げて開閉する方式です。昇降式、引割式を併用することも可能です。<オペラカーテン>

舞台上の主要な幕



一文字幕 (いちもんじまく)
舞台間口いっぱいの幅で、舞台上部に緞帳と並行に吊られた細長い黒幕のことで、舞台上部空間に吊り上げられた大道具や照明器具を、観客の視線から遮る役割があります。舞台奥行きに応じて複数吊下げます。

袖幕 (そでまく)
舞台袖(ふところ)で出番を待つ出演者や舞台裏を、観客の視線から遮る役割の黒い幕です。舞台奥行きに応じて複数吊下げます。

引割幕 (ひきわりまく)
舞台中央から左右に開閉する黒い幕です。場面転換や舞台エリアの調整に使用します。舞台奥行きに応じて複数吊下げます。



暗転幕
一般に緞帳のすぐ後ろに設けられた黒幕のことで、舞台転換の際に、舞台上の作業が観客から見えなくする役割があります。上下昇降方式が主流ですが、左右開閉方式のものもあります。



バック幕 (大黒幕)
舞台後方を見切る黒い幕です。演出によっては夜や暗闇を表現します。



horizont幕
ヒダのない淡い色(主にグレー)の幕です。演出照明を当て、天空・水平線・色染めなどの効果を表現します。



映写スクリーン装置
映写スクリーンと、スクリーン全体を覆うスクリーンカーテン、イメージ寸法を調整するカットマスクなどを一体的に昇降させる装置です。簡易型の巻取スクリーンもあります。